

卒業生 小西 遼さんのキャリア教育の授業

たかさん支援隊成瀬さんの橋渡しで、本校を平成10年3月に卒業したサックス奏者・作編曲家の中西 遼さんをお招きし、6年生にキャリア教育の授業をしていただきました。

「君たち今12歳ですよね～。20年後にはこうなります。」とはじまったお話は、大人もいろいろと考えさせられる授業でした。



小学生のころから音楽家になるまでのいきさつや、今考えていること、なぜ音楽家になれたかなど多方面のお話でした。「今何かになりたいと夢を持っている」子たちには、「一番になろうと考えるな、続けていくことが大切」というお話、そして、「今まだ夢が見つかっていない」子たちには「それでもいいと思う、自分がいろいろな人とおしゃべりしている中で何をしているのが楽しいのか、誰と話しているのが楽しいのか考えてみよう。」と語りかけてくださいました。「音楽をやっていて楽しいこと」「一つのことをやると器用貧乏どっちがいいのか」などのお話のほかに「人とのつながりを切らないこと」など、生き方にかかるお話もたくさんしていただきました。そして各クラスとエヴァンゲリオンのテーマ曲「残酷な天使のテーゼ」を共演していただきました。



“音楽を続けることの大切さ”を改めて学びました。サックスとのコラボ、温かみのある音色に心が和みました。(数納)

小西先生の子供目線で語る優しい語り口がとても印象的で、私も含め児童のみんなも先生のお話に引き込まれてしまいました。(笹川)



「優しい音色の3組、ビートのきいた1組、厚みのある2組、違うからこそ面白い」と言っていただけて、子供たちも異なることのすばらしさに気付くことができました。(高貝)

小西先生のお話の中で、一番を目指さない、続けることが大切であり、自分自身とても考えさせられました。子供たちにとってとても良い機会でした。(宮内)